



石城の稲作損害

三十二萬八千圓

水田九千町歩の二割三分弱

去月末の出水による石城郡下農作物被害は昨紙にも報ぜられたが、調査中であるが漸く各町村の全報告を得たる水田被害は收穫無以下左記の如く合計面積二千四百二町歩で同郡の全水田九千町歩に對する二割三分に當り殆んど被害なしと見られるものは山手方面に於ける三坂組合、田人組合、入道野三ヶ村のみで山地部でも箕輪水戸、川前、上遠野等は相當の被害を受け就中悲惨なものは鮫川、夏井の兩河川を初め藤田、藤原、仁井田川等の流域に沿ふ諸部落である出水のため土砂の埋没や欠損流失その他長時間に亘る冠水の原因とする病虫害甚

非常時下と海水浴

健康増進列車運轉

今日から久、四倉往復二割引

非常時下に於ける健康第一主義から海水浴客に便宜する平驟の客車の運轉は今九日から四倉及び久の濱ゆき往復運賃二割引（四倉往復廿四圓、久の濱往復廿八圓）を八月廿一日まで發行されるものに引續いて来る十一、十二（舊六月十四日、十五日）に於ける

Table with 2 columns: 日別乗車日数 (Daily passenger count) and 乗車人員 (Passenger count). Rows include 日別乗車日数 (Daily passenger count) and 乗車人員 (Passenger count).

我國の小麦需要は年に千三百万石内外で内二百万石は製粉の上輸出されるを差引ると國內需要約一千萬石、所が六割増産計を立てた今では其れに近づいた

七月二十日と八月一日の土用丑當日には平發午前七時五分久の濱の臨時、七月廿一日及び八月一、七、十四、廿一日の各日曜は平發(機)午後八時五十分の臨時

夜道に襲はれた娘

戦闘帽にゴム深靴の青年に 背部から短刀で突刺る

平市宇八幡小路脇沼とみ五女もので刺傷(深約二寸)を負は交換手ふじ子(二何れも假名)は去る七日夜八時過ぎ友達のへ歸つたが傷は肝臓に達する所へ本を返して行く途上平商業校裏門附近に於て突然後ろから「交換手待て」と聲をかけた怪漢に襲はれ腕に押はれるところを頑強に防ぎ相手の顔面に爪で掻傷を與へ第一校運動場の東南隅にある物置のところで逃げた背部から同怪漢が懐中持短刀で突刺る

戦地長期抗戦なごの便

寝言をぬかす支那

前略、御免被下候、出發の際には種々御配慮下され深謝致します、戦地に於ける平市出身の勇士一同健康にて皇國のため且また銃後各位の御支援に努めべく如何なる困苦欠乏も物かは憂支應のため一意専心努力いたす所、佐藤 市四郎

とも皇軍に對しては双向ふ力なく領地確保の任にある我々は第一線諸勇士の活躍によつて得たるものを絶對にけがさしめず東洋平和の基礎確立のため新政府を發け整備の全員固き決心をもつて奉公いたし居り候、小生等の頑健は銃後皆々様の御後援の賜にて戦ひの庭にあるもの皆深く感謝感激いたし居る次第に候、御陰謀をもつて小生去る五月十三日付にて勳八等瑞寶章を賜はり次へて六月六日付曹長に任ぜられ候、右亂筆文にて御挨拶申上げ候、今後

古銭献納

南明岡田政治郎氏

平市宇南明岡田政治郎氏は同家に於て丹念に貯めて置いた穴あき古銭左記三百五十五枚(三百七十七枚)を國防費に献納方今九日市役所に寄託した

平土木委員会

平市では今九日午後一時から土木委員会を開き各町の各區長を會し去月末の水害につ

中支視察旅行記

駒木根忠三氏より

一般に支那では大きな建築物は全部土製が入れであり窓と云はす入口と云はす土製が積んであつて之れが皇軍の進撃を助けたことは全く思ひ半ばを過ぐるものがあります、要するに上海市内の家屋内には土製を鉄眼と稱して此の防備を施し市外はクリク、トーチカ、土防と云ふ風に全防戦に足せり盡せりの装

共販米稍高か 石城郡販米に於ける来る十一日の依米共同販賣は出荷一千二、三百俵に上る見込みであるが相場は前回に比して稍高を唱ひるだらうと豫想されてある

草刈競技會

平から選手出場

全日本の草刈選手大會は来る八月十四日東京市に於て開催されるに對し本縣では来る二十日郡山市に於て地方選手の出場會を開かれるので石城郡からは平市下平窪の折内太一君出場の筈であるが右の豫選を通過すれば前記全國競技の選手権を獲得出来る譯で興味視されてある

兄弟喧嘩で 兄に傷害

斧を揮つて肩先に 全治五週間の

石城郡内郷村の宮居住炭礦坑坑夫吉井己之吉(三)は去る七日午後七時半頃排水坑内で作務中高懸線に觸れ感電即死

坑夫感電即死

石城郡好開村の日曹小田炭礦坑夫吉井己之吉(三)は去る七日午後七時半頃排水坑内で作務中高懸線に觸れ感電即死

小川江臨時總會

石城郡小川江筋組合では来る十五日臨時總會を開き水害復舊工事その他を附議すると

婿養子の搜索願

岩手縣紫波郡乙部村の大宮三内河仁太郎(三)は内級共同縣江刺郡福岡村千葉(三)は前記(二)に婚姻を望み本年五月二十六日婿養子となつて同棲して居るが去る二日午後六時頃盛岡市山岸町の叔父の處に行つてくると出かけた翌三日福島縣から石城の平方面に行つての手紙を出し行方不明となつたのでくらの父仁太郎から岩手方面に居るらしと搜索方を願出た

共販米稍高か

石城郡販米に於ける来る十一日の依米共同販賣は出荷一千二、三百俵に上る見込みであるが相場は前回に比して稍高を唱ひるだらうと豫想されてある

草刈競技會

全日本の草刈選手大會は来る八月十四日東京市に於て開催されるに對し本縣では来る二十日郡山市に於て地方選手の出場會を開かれるので石城郡からは平市下平窪の折内太一君出場の筈であるが右の豫選を通過すれば前記全國競技の選手権を獲得出来る譯で興味視されてある

兄弟喧嘩で 兄に傷害

斧を揮つて肩先に 全治五週間の

石城郡内郷村の宮居住炭礦坑坑夫吉井己之吉(三)は去る七日午後七時半頃排水坑内で作務中高懸線に觸れ感電即死

して母の對遇が悪いと云つたことから兄弟喧嘩となり傍らにあつた斧を揮つて兄の肩先に斬りつけ全治五週間の傷害を與へ平署に檢舉されて目下取調べられてある

産業方面

新産業の花形 本縣の綿羊(二)

更なる組合員の範囲を安達郡一圓に擴張するため目下認可申請中だが本年度から二郡六十ヶ町村飼育綿羊九十頭の増定である。

羊毛加工を主に二千戸の大組合、

前記畜産組合を母体として伊達郡綿羊販賣購買利用組合が羊毛加工を主眼に昭和十一年三月に設立され事務所を川俣町に置き伊達のホームズパンの名が全国に聞えるやうになつた、同組合の、

定款第一條に(イ)組合員の委託を受け其の生産したる綿羊毛、羊肉、羊皮に加工しまたは加工せずして之れを販賣すること(ロ)組合員の綿羊飼育及び生産物の加工に必要な物を買入れこれを組合員に賣却すること(ハ)組合員をして羊毛、羊肉及び羊皮の加工に必要な設備を利用せしむること販賣加工品は綿羊、羊毛、羊肉、羊皮、ホームズパンの仕上げ購買するものは綿羊の飼料、羊毛、剪毛機、断皮機、羊毛加工用器具機械、洗料、染料、藥品等で農家購買の難産をすることが組合の工場には洗毛機、染色機、織機、ホームズパン仕上げ機、羊肉、羊皮の加工設備が一切整備され新農村丁の尖端をゆくものとして、(ニ)益々飛躍し現在組合員數は下二十六ヶ町村二千二百戸、(三)本年度産獲金八千八百八十五、(四)千二百九十七

圓の増築費をもつて作業場舎築廿九坪、整理機一台、繰返し機管巻機一台、染色機、染色用釜、縮絨機、巾田乾燥機各一台を備へることになつた

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄

木村病院

平市新川町九一
入院隨意 病室完備
電話一六四番

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士 五十嵐雄二

婦人科

平市新川町「電話二六九番」

お醤油は ヤマフル

醬油 味噌 鮭 たひら 正宗 鱈節食料品

山崎合名會社

電話 本業部 一〇番 支店部 二七番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

デリーサー비스

品目	定額	品目	定額
月カツレツ	三〇	チキン	三〇
火子カツ	三〇	カツ	三〇
水子カツ	三〇	カツ	三〇
木子カツ	三〇	カツ	三〇
金子カツ	三〇	カツ	三〇
土子カツ	三〇	カツ	三〇
日子カツ	三〇	カツ	三〇

特別にマルトモのランチは...

RESTAURANT MARUTOMO 平市中 車場通

堂食モトルマ

電話 二三

平病院

今般副院長として高橋俊幸氏を招聘し「内臓外科一般外科皮膚泌尿器科」の診療に従事せしむ

院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 高橋俊幸

内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸
物理療法科 部長 鈴木定藏
レントゲン科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 鈴木定藏

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

院址 平市元共済病院跡
電話 六四一番

高橋俊幸

院長 醫學博士 鈴木定藏

内臓外科 皮膚泌尿器科

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

中野齒科醫院

院長 醫學博士 中野憲次

目科療診

一般 齒科 補綴科 齒槽外科
保存科 小兒齒科 齒槽外科
レントゲン科

院址 平市田町
電話 五〇九番

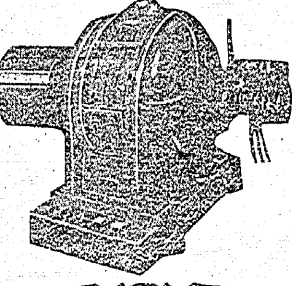
北川外科

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科

診察 晝夜

〔血液検査毎日〕
インテモ 醫學博士 北川芳夫
入院デキマス 技師 三浦常保

平市新川町二七(電話四六四)



モトル 販賣、修理

社會資合 所工鉄藤佐

町見月市平 (番二六三話電)

平看護婦會

新時代の要求

附屬事業に等外看護婦を特設いたし 皆様の御用向へ身元隨順なる婦人を 派出致します。

平市中町 電話 三〇七

御手不足の御家庭 軽い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭 願ひ致します

國民精神總動員 日本國民必見の書……

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次致して居ります

平 西村屋藥局 電話 三